

## 年頭のご挨拶

一般社団法人 IT 産業懇話会  
代表理事 由利 孝

新年あけましておめでとうございます。2026 年の始まりにあたり謹んで新春のお慶びを申し上げます。また、日頃、一般社団法人 IT 産業懇話会の諸事業に対し、会員各位にはご支援・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、一般社団法人 IT 産業懇話会は 2024 年に 10 周年の節目を迎え、昨年 2025 年は、次の 10 年に向け、事業活動の充実を目指し走り出しました。当団体設立当初からの基本理念である「企業と大学・専門学校を繋ぐ架け橋」としての役割を再認識し、会員である企業と、大学・専門学校の双方の発展、ひいては IT 業界全体の発展に貢献をすべく、理事会、専門部会を中心に活発な議論を重ねてまいりました。また、当団体の活動の基盤となるガバナンスの強化に向けても活動を開始しております。

さて、現下の社会・経済情勢は、不確実性が増していると言っても過言ではないと思います。第 2 次トランプ政権が発足したアメリカ合衆国をはじめとする大国が自国第一の保守主義に傾斜し、関税戦争の勃発によるサプライチェーンの混乱は暫く続くものと思われます。また、米中対立の先鋭化に加え、台湾有事をめぐっては日本と中国の関係も難しい局面を迎えています。終わりの見えないロシアのウクライナ侵攻、イスラエルのガザ侵攻等、地政学的リスクも高止まりしています。ウクライナを挟んで米国と欧州の立場の違いも見えてきました。

一方で、近年の IT 技術の加速度的な進展には目を見張るものがあり、特にホワイトカラーの生産性を劇的に向上させる生成 AI のパワーは破壊的とも言えます。生成 AI の活用を通して、社会構造の変化を多くの人々が感じ始めていると思います。IT 技術は既に社会インフラであり、生活、社会のあらゆる場面で IT 技術はビルトインされています。IT 活用による企業活動の DX（デジタルトランスフォーメーション）は避けて通れません。ホワイトカラーの仕事が AI に奪われるのではないかという社会不安も生まれており、実際、定型業務はどんどん AI が担っていくことでしょう。その結果、今後 IT 人材に求められる技能やリテラシーもより創造的なものに変化していくと思います。ソフトウェアのプログラム開発の現場でも AI の活用は加速度的に進んでいます。この大きな社会構造の変化は、「就活」の場にも及んでくるものと思います。

「企業と学生を繋ぎ」、「IT 業界の発展により社会・経済に貢献する」ことが当団体の目指すところです。社会構造の変化を的確に捉え、これからの社会が求める IT 人材のあるべき姿を見据え、それら人材の育成と、企業活動への人材の橋渡しは、当団体の重要なミッションとなります。そのミッションを果たすためにも、当団体自身も積極的に自己変革していく必要があると痛感しております。

世界で起こっている戦争や紛争が収束し、明るい未来を語り合える、そんな世の中が戻ってくることを願いつつ、私ども一般社団法人 IT 産業懇話会も更なる発展に向けて尽力してまいります。会員各位には、当団体への一層のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご発展を心より祈念いたします。

2026 年 1 月